

予想される学習活動・子どもの意識の流れ

パフォーマンス課題：みんなの生活がもっと楽しく、よりよくなるための『提案文』を書こう！
みんなの熱い思い（意見）と、それを支えるデータや証拠（事実）を組み合わせ、校長先生や児童会、担当の先生、友達のことを動かし、検討してもらおう！

1 学習計画（見通し）

事実(青)は集まったから、その事実をもとに意見(黄色)をしっかりと考えて構成メモを作ろう。

事実(青)が思うように集まっていないので、まずは事実集めをしてから、構成メモに入るようにしよう。



説得力のある構成メモ（始め・中・終わり）を作成しよう。

2 授業の学び

【構成メモに進む人】
誰と 個人 or 友達 or 先生
どこで 自分の席 or 交流スペース
何を使って ワークシート or 端末（ロイロノート）

【事実を集める人(目的が立ち次第構成メモに進む)】
誰と 個人 or 友達 or 先生 or 深川さん
どこで 教室 or 教室外
何を使って 端末(google フォーム)or 紙アンケート or インタビュー

「はじめ」で提案したいことをはっきりと言うといいんだね。

「中」では、事実を言ってから、意見を言うといいよね。

大人が考えるデメリットはどこに入れると効果的かな？

説得力のある文章構造を子どもたちが主体的に考えている。

3 振り返り

最初はデータが集まらなくて焦ったけれど、〇〇さんのアンケート結果と一緒に使わせてもらったおかげで構成メモが完成した。明日は第5時なので、このメモを見ながら下書きを書き始めたい！

次の時間は構成メモをもとに、原稿用紙（または端末）へ下書きを書いていきます。ループリックを意識しながら学習を進めていきましょう。



- 教師の指導・支援
- ループリック（伝わる 5 つのひけつ）を意識させ、集めた「事実（青）」と「意見（黄）」、「デメリットの解決策（赤）」を「始め・中・終わり」の構成に正しく位置付け構成メモを作成できるようにする。【課題】
 - 構成メモの作成では、黒板や端末上に「始め・中・終わり」の枠組みと例文を示し、友達の考えを共有できるようにする。【過程】
 - 構成に悩んだ際に友達と見せ合ってチェックし合う時間を保障する。【形態】

主体性の目安となる自己調整の度合い					
学習課題		学習過程		学習形態	
教師	子ども	教師	子ども	教師	子ども
1	9	4	6	2	8